

ニュース

『写真パネルバンク』の ユニークな使い方募集

教材『写真パネルバンク』については、本号20、21ページの特集や「写真で見る日本人の生活」で紹介してきました。そこでこのたび、『写真パネルバンク』のユニークな使い方を募集します。

この教材は授業などで使ったことのある方(あるいはこれから使ってみようと思う方)で、面白い使い方のアイディアのある方は、応募してみませんか。授業、課外活動や展示など、どんな使用方法でも結構です。また、IからVのどのシリーズのパネルを用いてもかまいません。その活動の様子を写した写真もなるべく一緒に送ってください。選考の結果、ユニークで効果的な方法を『日本語教育通信』34号以降で紹介し、また、上位5名の方に賞品を差し上げます。たくさんの応募をお待ちしています。

- 1. 募集テーマ: 『写真パネルバンク』 のユニークな使い方
- 2. 応募方法:①活動のテーマ(目的) ②使用したパネルのシリーズ名と題名(例:日常生活シリーズ・洗濯する)③使用方法、④優秀者に選ばれた場合、賞品として希望する『写真パネルバンク』のシリーズ名(詳細は本通信20ページの表を参照)⑤可能ならば、そのパネルを使った授業

*この欄にふさわしい情報やニュースがありましたら、下記までお寄せください。 国際交流基金日本語国際センター情報交流課 〒336 0002 埼玉県浦和市北浦和5 6 36

Research and Information Division, The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa, 6-36 Kita-Urawa 5-chome, Urawa-shi, Saitama 336-0002, Japan

風景や展示方法などを写した写真、 ⑥あなたの氏名、連絡先を書いて、 下記の宛先までお送りください。

3. 賞品:希望するシリーズの『写真パネルバンク』1セット(5名)

4.締切:1998年12月31日

5. 宛先: 国際交流基金日本語国際セン ター 制作事業課 コンテスト係 〒336 0002

埼玉県浦和市北浦和5 6 36 TEL +81 48 834 1183 FAX +81 48 831 7846

日本語教育論集 「世界の日本語教育」第8号発刊



日本語国際センターが編集・発行している日本語教育論集「世界の日本語教育」の第8号が発刊されました。この論集は、世界各国で、行われている日本語教育や日本語研究分野の研究成果を紹介するために毎年発行しているものです。第8号では、各国から投稿された論72編の中から選ばれた15編が掲載されています。

なお、本論集は国内外の主要な日本語 教育機関に寄贈されるほか、市販もして おりますのでどうぞ御利用ください。 (定価2 200円)

市販についてのお問い合わせ先:

㈱凡人社

〒102 0093東京都千代田区平河町1 3 13 菱進平河町ビル8階

TEL +81 3 3263 3959 FAX +81 3 3263 3116

海外派遣青年日本語教師募集

海外で高まっている日本語学習熱に応えるために国際交流基金が実施している「青年日本語教師派遣事業」では、平成11年度に東南アジア(マレーシア)および大洋州(オーストラリア)を中心に若干名の派遣を予定しています。詳しい募集要項および応募書類をご希望の方は、住所・氏名を明記した返信用の封筒(角3型)に切手120円を貼付して、下記の財国際文化交流推進協会(エース・ジャパン)までご請求ください。募集の締め切りは平成10年10月21日(水)です。なお、電話でのお問い合わせには応じておりませんのでご注意ください。

= 問い合わせ先 =

〒107 0052 東京都港区赤坂2 17 22 赤坂ツインタワービル 1 階

脚国際文化交流推進協会

(エース・ジャパン) JF-NG99係

(担当 田口)

URL

http://www.acejapan.or.jp/ace/info/ JapaneseTutor.html

(こちらで募集要項をご覧になれます) *情報交流課、日本語課では応募を受け 付けておりませんのでご注意ください。

○ 編集部から

「『日本語教育通信』は役に立ち、またおもしろそうなのですが、日本語が難しくて読むのに苦労しています」

「英語で書かれた『通信』は発行され ていないのですか」

「もっと日本語教育に関する情報がほしいのですが」

このような読者の皆さんからの感想や 質問に基づいて、「海外日本語センター ニューズレター紹介」を企画しました。

海外日本語センターが発行するニューズレターの中には、日本語ばかりでなく、英語やタイ語やポルトガル語で書かれたものもありますので、『通信』が難しい

と感じる方は、こうしたニューズレター を利用してみてはいかがでしょうか。

また、『通信』とは異なる日本語教育に関する各種情報を載せていますので、 『通信』と合わせて利用していただきた いと思います。

ニューズレターの中には、海外日本語 センターのホームページ上で見ることが できるものもありますので、こちらもご 利用ください。

*編集部では、『日本語教育通信』に対するご意見や皆さんの学校の状況などを書いたお手紙をお待ちしています。

『日本語教育通信』 第32号

1998年 9 月発行

発行・編集 国際交流基金

日本語国際センター 情報交流課

〒336 0002 埼玉県浦和市北浦和5 6 36

Tha Japan Foundation

Japanese-Language Institute, Urawa (6-36 Kita-Urawa 5 chome, Urawa-shi, Saitama 336-0002, Japan)

TEL 048 834 1184 FAX 048 830 1588 E-Mail jfnckt@jpf.go.jp

編集協力

財団法人 国際文化交流推進協会

Assoc. ACE Japan (Japan Assosiation for Cultural Exchange)

c 1998 by The Japan Foundation

(表紙イラスト:村井宗二)